

大学の先にあるコト。受験の前に学ぶコト。  
5泊6日の夏期集中講座  
**仕事の学校**

'08 8/4 [mon] ~ 8/9 [sat]

場所: 新横浜プリンスホテル(神奈川県横浜市)



## あなたの夢 ≡ ?

「あなたは何の仕事がしたいですか？」

と聞かれることはあっても、

「あなたはどんなふうに仕事をしたいですか？」

と聞いてくれる大人は少ない。

だから、私たちは一緒に考えたい。

あなたの「夢」と「仕事」と「社会」、

そして、あなた「自身」のこと。

「そろそろ決めなきゃいけない志望校や学部。

将来やりたい仕事を考えて選ぶといっても、正直あんまりピンとこない。」

「仕事の学校」は、そんな思いを抱えた高校生が全国から集まって一緒に考える合宿型のセミナーです。

近くて遠い「仕事」ってなんだろう。

この夏、仲間と一緒に考えてみませんか？

**主催：仕事の学校 実行委員会**

東京都港区北青山3-6-7 青山パラスイタワー11階 株式会社音別

TEL : 03-5778-5961

Web : <http://www.shigotonogakkou.net/> Mail : [info@shigotonogakkou.net](mailto:info@shigotonogakkou.net)



携帯電話から  
資料請求できます

## 第2回「仕事の学校」実施概要

日程	2008年8月4日(月)～8月9日(土) ※全日程にご参加ください
場所	新横浜プリンスホテル 〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-4 TEL:045-471-1111 FAX:045-471-0303
参加費	40,000 円(税込み) ※期間中の食事、宿泊代、プログラム費用の一切を含みます ※実施場所までの交通費および仕事体験先までの交通費は、自己負担となります
募集人数	高校1～3年生 (1990年4月2日～1993年4月1日生まれの15～18歳まで) 男女 24名程度
応募条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者本人が強く参加を希望し、保護者も「仕事の学校」の趣旨に賛同している</li> <li>・5泊6日の集団生活を過ごすことができる</li> <li>・2回の「仕事体験」を積極的に取り組む意思がある</li> </ul>
応募期間	応募受付 2008年4月1日(火) 応募〆切 2008年5月31日(土) ※消印有効です
応募方法	1 「仕事の学校」ホームページにある「申込書」をダウンロードしてください。 URL: <a href="http://www.shigotonogakkou.net/download/entrysheet.pdf">http://www.shigotonogakkou.net/download/entrysheet.pdf</a> 印刷ができない場合は、資料をお送りすることもできます。 上記ホームページ、またはメールでお問い合わせください。 Mail: <a href="mailto:info@shigotonogakkou.net">info@shigotonogakkou.net</a> 2 「申込書」を2008年5月31日(土)(消印有効)までに、下記住所へ送付してください。 送付先: 渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 22 階 175 株式会社音別内 「仕事の学校 実行委員会」宛
選考方法	応募者多数の場合は、申込書をもとに選考いたします。 選考の合否は、6月6日(金)以降に、随時ご連絡いたします。
主催	仕事の学校 実行委員会 実行委員長 本城 慎之介 ((株)音別 代表取締役社長、元楽天(株)取締役副社長、前横浜市立東山田中学校校長)



## 6日間のプログラム(昨年度実施例)

※今年度のプログラムについては、現在検討中です。変更の可能性があります。

1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)	6日目(土)	
	仕事体験	講演 長原寛さん 「ものつくる仕事」	仕事体験	ワークショップ 仕事体験を 振り返って	ワークショップ 夢と仕事と 自分と社会	
集合		休憩		休憩		
開校式 オリエンテーション		講演 宮城香織さん 「思いをかたちに する仕事」		講演 大葉ナナコさん 「幸福を生み出す 仕事」		ワークシート 記入時間
チーム ビルディング		昼食		昼食イベント	昼食	
休憩 部屋移動		休憩		休憩	片付け	
ワークショップ ミネラルウォーター につながる仕事		移動		講演 + ワークショップ 西村佳哲さん 「仕事とつながる」	ワークショップ 2050年の わたしと社会	閉校式
休憩				休憩	休憩	ワークショップ わたしにとって 仕事とは何か?
夕食		夕食		夕食	夕食	
フリー		フリー		フリー	フリー	
ワークショップ なんのために 仕事をするのか? ①		ワークショップ 仕事体験を 振り返って		ワークショップ なんのために 仕事をするのか? ②		ワークショップ わたしの変化

### 「仕事観」を育む

「仕事の学校」は、単なる職業選択ではなく「仕事観」の育成を重視した宿泊型のキャリア教育プログラムです。2日間の仕事体験を含む期間中の体験から、主体的に学ぶと同時に参加高校生が互いに学びあうことを重視しています。

### 徹底的に「書く」

5泊6日のプログラムの中で、徹底的に「考える」「書く」「話す」「聞く」を繰り返し、自分自身のことや、何を大切に  
して仕事をしていきたいかについて、考えを深めます。

私たちは、参加高校生の皆さんが正解のない答えに対して自分の回答を見つけることを、大切にしています。

## 第1回参加者と保護者の声

Q 参加した高校生に聞きました。あなたにとっての仕事って？

仕事とは自分と社会、人、夢、志などを結びつける媒介であると思う。

仕事自体が何かという1つのはっきりとした形を持つのではなく、

仕事とは自分と何かを結びつける媒介だと思う。

仕事にいいも悪いもなく、どんな仕事であっても、人を喜ばせたり、人と接することができる。

それは何でも共通！

どんな仕事も自分ひとりじゃなりたらず、する意味もない

Q 5泊6日を終えて、どうだった？

正解のない問題に答えを出すことに慣れました。

100万人の高校3年生の中で、自分が一歩リードできた感じがする

ずっと一緒にいる友達以上に真剣に話せた仲間が大事だって思えた

正解がないって、めちゃくちゃやんって思ったけど、なんかこれはこれで悪くないな。なんでやる？

Q 保護者の方へ、参加後のお子さんの様子はいかがでしたか？

参加するまでは、不安、緊張、期待感が入り混じっているようでしたが、帰って来た時には、目を輝かせて初めて出会った人々との経験を通じて、新しい自分が発見できたと興奮して家族に話をしてくれました。

帰宅から数日間、仕事に対する考え方を何度も質問されました。気づきを言葉にする難しさや自分自身の未熟さをどう克服するかについて語り、意見を求めてきます。誰かとおなじではなく、自分自身の考え方が重要だと知ったので、自分を磨きたい。そんな趣旨の話を何度かしています。

「今までの人生の中で最高の出会いだった！高校生になって、大人になったつもりでいた自分が、まだちっぽけな若造だということを感じた」と一週間たっても興奮して話していました。

Q 参加後のお子さんに、何か変化はありましたか？

まるで新しい回路が開けたように自分について話をしてくれるようになりました

「仕事の学校」で書いたことが自信になり、学校の宿題のレポートも、パソコンを使わず、レポート用紙に手書きで大量のものを何日もかけてこなすことができるようになりました。

ともすれば、仕事について真剣に考える時期が就職するために切羽つまった大学の卒業年次になってしまうように思われます。少なくとも高校生時代に仕事について真剣に考えておくことが必要であり、この「仕事の学校」に高校1年の時に参加できたことが子どもの将来にとって、とても有意義になるものと思っています。

年 月 日

申込者

(参加希望者本人自筆)

## 「仕事の学校」参加申込書

私は、第2回「仕事の学校」に参加を希望するので申し込みます。

フリガナ		年齢	性別
氏名		歳	男・女
生年月日	19 年 月 日	学年：	年生
学校名 (所属)			
住所	〒		
電話番号 (自宅)		携帯番号 (本人)	
携帯番号 (家族)			
パソコン メール	(本人・家族)		
携帯 メール			
事務局への質問などがあれば、ご記入ください。			

### 同意書

私は、上記参加希望者が「仕事の学校」に参加申し込みすることに同意します。

保護者

(参加希望者親権者自筆)

(事務用欄)

受付日	確認印

(※裏面もご記入ください)

年 月 日

申込者 \_\_\_\_\_

「仕事の学校」への参加動機など、自由に記入してください。